令和４年度第１回青梅市文化財保護審議会会議録

日　　時：令和４年７月２２日（金）午後２時００分
場　　所：青梅市役所本庁舎３階教育委員会会議室
出席委員（敬称略）：馬場憲一、稲葉政満、沖川伸夫、保坂一房、棚橋正道、
久保田正寿、三戸久美子、守田正志
欠席委員（敬称略）：山本勉、西村慎太郎
事 務 局 ：橋本雅幸教育長、布田信好教育部長、北村和寛文化課長
小峯勝郷土博物館管理係長、岡本拓也郷土博物館管理係主任

開会（文化課長進行）

１　教育長あいさつ

２　正副会長の選任および部会長・部員の指名
以下のとおり選任および指名した。
会長　稲葉委員
副会長　山本委員
第１部会　稲葉委員（部会長）、山本委員、棚橋委員、守田委員
第２部会　馬場委員（部会長）、保坂委員、西村委員
第３部会　久保田委員（部会長）、沖川委員、三戸委員

３　報告事項
(1)　令和３年度事業報告について
事務局から郷土博物館管理事業、文化財管理事業、文化財調査保護事業、埋蔵文化財調査保護事業、指定文化財保存修理補助事業および吉川英治記念館事業などについて説明。

質疑・応答・意見

【委　員】観音寺本堂に設置した防犯カメラは本堂内部のみであるのか。本堂の周辺はどのようになっているか。

【事務局】今回の補助事業で実施したのは本堂内部であるが、令和元年度に敷地内の防災設備事業を実施しており、その際に本堂の周辺に防犯カメラを設置している。

【委　員】東京都の補助率が事業によってバラバラであるが根拠はあるのか。

【事務局】東京都では、原則５０％の補助率としているが、事業規模や補助申請者の財政規模に応じて加算率というものを設定している。

【委　員】東京都の補助率が原則５０％であると、市の補助率はどれくらいになるのか。

【事務局】東京都の補助事業の場合、市の補助率は、１０％としている。

【委　員】現在、福島家住宅の管理はどのようになっているか。

【事務局】福島家住宅の所有者は、自宅から通っている。

【委　員】企画展「青梅の金融史～あおしん創立１００周年～」は興味深かった。展示図録は刊行されなかったが、この企画展をきっかけに、こういった成果を積み重ねて資料集のような形でまとめることができると良い。

【事務局】今回の企画展は青梅信用金庫とタイアップした事業で、企画展開催に際して金庫から資料を借りたり、また、金庫１００周年記念誌をまとめる際に当館から関連資料を提供したりと、相互に連携することができた。今後もこういった機会を設けられたら考えていきたい。

【委　員】文化財保護指導員は何人位いるのか。年１回くらい意見交換の場があると良い。

【事務局】現在は１０名である。次回、指導員の名簿をお渡ししたい。また、意見交換については、指導員会で相談したい。

【委　員】吉川英治が残した少年少女向けの作品の読み聞かせ会を子ども読書週間で実施したとの話が、この前の図書館運営協議会で出て、図書館と吉川英治記念館とのコラボで、吉川英治に関する新しいアプローチという印象を抱いた。今後とも、こうした行政の枠を超えた横断的な取り組みの必要性をあらためて実感した。

【事務局】青梅市吉川英治記念館の定例会で報告したい。

(2) 令和４年度事業計画について

事務局から指定文化財保存修理補助事業、都指定有形文化財「旧吉野家住宅」屋根葺き替え工事、郷土博物館事業および吉川英治記念館事業について説明。

質疑・応答・意見

【委　員】今回、史料集のような出版物の刊行は予定しているか。

【事務局】企画展「齋藤眞指の生涯」の開催を機に、市史史料集第５５号「皇国地誌・西多摩郡村誌（上)」および第５６号「皇国地誌・西多摩郡村誌（下)」の再販を予定している。

(3) 指定文化財の現状変更等について

事務局から、ニホンカモシカの現状変更について説明。

質疑・応答・意見

【委　員】首輪は外したのか。

【事務局】自然に外れるようになっている。

(4) 美術館および郷土博物館の複合化検討結果について

事務局から、美術館および郷土博物館の複合化の検討結果について説明。

質疑・応答・意見

【委　員】美術館と郷土博物館は今後どのようになるのか。

【事務局】美術館は設備改修を行うことで継続していく。郷土博物館は移転先を模索したり、統合などについて検討していく。

【委　員】郷土博物館は、旧耐震のまま運営していくのか。

【事務局】現在は必要最低限の修繕のみを行っていく方針である。

【委　員】すでに移転先の候補はあるのか。

【事務局】現時点ではない。現在の建物は河川敷に隣接して建っており、３年前の大雨で浸水寸前にまでなったことから、現在の位置での建て替えは難しいと考える。

【委　員】平成２９年度から複合化について庁内外で検討し、最終的に、郷土博物館を美術館の中に移設することは難しいということは分かったが、今後、どうしていくのか。

【事務局】数年に渡る検討の結果、美術館と郷土博物館をひとつの建物で運営するのは難しいという結論に至り、今後の予定では、美術館は設備改修をして継続していく、郷土博物館は新しい移転先を模索しつつ、それまでは現在の場所で必要最低限の修繕をしながら運営していくという形になった。

【委　員】平成２９年に文化経済戦略で、国は観光面を重点とした政策を行っていくこととしたので、それに合わせるように方針を決めた方が良い。

【事務局】観光面と一体とした補助制度を活用していきたい。

【委　員】各学校で耐震工事を実施したときに、郷土博物館も耐震工事を実施したように記憶している。

【事務局】耐震診断は行ったが、耐震工事は行っていない。

(5) 市指定有形民俗文化財・日本狼頭骨のＤＮＡ調査について

事務局から、調査研究グループより依頼を受けている日本狼の頭骨のＤＮＡ調査について説明。

<u>質疑・応答・意見</u>

【委　員】日本狼の頭骨は多摩地域に２、３点あるらしいが、どこにあるか知っているか。そこにもアプローチするなど聞いているか。

【事務局】当館以外の状況は把握していないが、御岳山や西多摩地域にあるのではないかと考えている。

【委　員】ＤＮＡ調査は分かるが、カーボン１４とはどういったものか。

【委　員】カーボン１４で資料のおおよその年代が推定できる。

【委　員】ＤＮＡはどれ位の量を採取すれば良いのか。

【委　員】調査内容によるが、調査の全体像が分からないので、何とも言えない。

【事務局】調査して、必ずしも結果が出るものではないと聞いている。調査の全体像や方法を確認し、次回報告したい。

【委　員】秩父の三峯山にも日本狼があると聞いたことがあるので、そちらにも調査依頼が来ているか確認してみると良い。

【事務局】他の事例についても確認し、次回報告したい。

(6) 市指定文化財のアンケート調査に伴う相談案件について

事務局から、令和５年度に予定している市指定文化財の修理事業について説明。

<u>質疑・応答・意見</u>

【委　員】観音寺の薬師堂と銅鐘の茅葺き屋根の修理について、前回いつ頃実施しているのか。配布資料に明記してもらえると、葺き替えのタイミングが分かって良い。

【事務局】次回提出する際には、修理履歴を明記する。

【委　員】大背戸のカシの所有者と現地で会い、相談を受けた。文化財の理解に異を唱える人は少ないと思うが、樹木の場合、大きくなりすぎることで脅威に感じることはあると思う。こういった樹木について、地元の方々の理解を深める取り組みとして、子どもたちに参加してもらえることが出来ると良い。

(7) その他

ア　吉川英治旧宅の国登録有形文化財の登録について

<u>質疑・応答・意見</u>

特になし。

イ　その他

<u>質疑・応答・意見</u>

【事務局】雲慶院の焼損資料について、現在、奈良文化財研究所で修復作業を行っているが、新型コロナウイルスの影響により、なかなか進んでいないと聞いている。

4　協議事項

(1) 旧吉野家住宅の今後の整備計画について

事務局から、旧吉野家住宅の次年度以降の整備について説明。

<u>質疑・応答・意見</u>

【委　員】「整備計画」の図を見ると、茶畑の撤去とあるが、新町地区の古くからの景観として残しておくべきではないか。また、「活

用計画」のなかに「お茶の収穫体験」も掲げられているが、「お茶の収穫体験」はどこで行なうのか、その整合性についても、どう考えているか。

【事務局】現在、チャドクガが大量発生し、旧吉野家住宅の管理上、難しい状況となっているため、茶畑を撤去し、芝生化することで、見学者や地元の方々の憩いの場にしていきたいと考えている。ただし、茶畑の景観というところも含めて、「お茶の収穫体験」を活用計画で挙げているため、どういったことができるか、内容をもう少し検討していきたい。

【委　員】令和６年度以降の整備計画として、多目的施設の整備と駐車場の舗装化が挙がっているが、どういったものか。

【事務局】現在、旧吉野家住宅東側の土地は広い空地で、未舗装のため雑草が繁茂し、草刈りなどで大きな負担となっている。多目的施設は、新町地区の歴史を紹介できるような展示学習スペースを考えている。

【委　員】旧吉野家住宅の敷地と東側の土地を足したスペースからみて、駐車場の割合が広すぎると思う。大型バスなどの駐車利用率などから、必要な面積を算出するなど、駐車場は最低限にして、その場所を茶畑や農作物の畑にした方が良い。デザインプランを検討してほしい。

【委　員】主屋に飲食スペースを設けているが、そこでは火は使わないのか。

【事務局】電子調理器のみの使用を想定している。

【委　員】現段階で、東京都と協議中という理解でよろしいか。

【事務局】そのとおりである。

【委　員】物販や飲食を実施するのはよく考えた方が良い。

【委　員】物販や飲食は主屋でなく、多目的施設で行えないのか。

【委　員】飲食スペースから住宅が傷むといった事例も発生している。

【事務局】市議会や地元の意見交換会などで飲食スペースに関する意見をいただいている。また、東京都と保存活用計画について協議する中で、主屋での物販や飲食を行いたいと説明している。

【委　員】保存活用計画に収穫体験など住宅での体験イベントとあるが、

どこで実施する予定か。

【事務局】場所はまだ定まっていない。

【委　員】歴史的な景観を再現・復元するという視点から、計画を検討してほしい。

【事務局】進ちょく状況については、今後も引き続き報告したい。

(2) その他

質疑・応答・意見

特になし。

5　次回の開催について

【事務局】１０月から１１月ごろを予定しているが、新型コロナウイルスの感染状況により、前後する場合がある。

【委　員】委員の予定がどんどん埋まってくると思うので、２～３か月前あたりに日程調整するとスムーズに行くと思う。

【事務局】承知した。

6　その他

質疑・応答・意見

【委　員】郷土博物館の今後の展示計画として、「自然災害」に関するテーマを取り上げてほしい。

閉会（事務局）